

第2次南魚沼市総合計画後期基本計画（案）に対する

意見の概要と市の考え方

意見の概要	市の考え方
<p>第2章「基本計画」に、SDGs<sup>※</sup>の取組について示しているが、第1章「総論」部分でまず明確に記述すべき。SDGsは6つの政策大綱の全分野に関連するものであるため、総合計画全体が南魚沼市におけるSDGs計画書とも言える。</p> <p>（第1章総論 SDGs）</p>	<p>SDGsの取組を推進する前提となる、基本的な考え方などを示す必要がありましたので、総論の中に明記することとします。</p> <p>総合計画（後期基本計画）に基づいて実施していく各施策については、SDGs達成のための取組と位置づけを推進していきます。</p>
<p>野外・環境教育は、SDGsの根底をなすもので、持続可能な社会づくりに向けた地域全体の認識を高める、きわめて重大な役割がある。この分野における現状と課題についての認識が足りず、施策全体の内容が薄弱すぎる。施策の基本方針や達成目標などについて、地域が生き残るための出発点としての環境理解がゴールであることを意識した内容にすべき。</p> <p>〔同様意見1件〕</p> <p>（基本施策2-7「地域に根ざした野外・環境教育の推進」）</p>	<p>環境教育の意義や重要性については認識していますが、現状の取組に対する市民の評価や関心が低いことは事実です。持続可能なまちづくりを進めるうえで、これまで以上に重要となる野外・環境教育の必要性について、市民全体の認知度を上げていく必要があります。基本施策2-7「地域に根ざした野外・環境教育の推進」の内容を、ご意見の趣旨を踏まえて変更します。</p>
<p>基本施策ごとに設定されている指標については、将来の目標値がマイナスになるような事業は廃止、もしくは抜本的な見直しをすべき。（新規就農者数、市民バス利用者数、移住相談件数など）</p> <p>〔同様意見1件〕</p>	<p>各施策の達成度合いや進捗状況を検証するために、5年後の目標値を設定しています。現在値と比べて目標値が低くなっている例もありますが、その事業に意味がないのではなく、その施策に取り組むことで現状水準を維持したり、その減少幅を抑えたりすることを目指すという考え方で設定しているものです。このような考えに基づいて、目指すべき目標値として適切であるかどうかを改めて確認したうえで、必要と判断したものは目標値を変更します。</p>
<p>野外・環境教育の推進については、SDGsとの関連性を踏まえ、持続可能な社会づくりの基盤となることから、その位置づけを再考し、全ての施策や基本プロジェクトを貫くものとした扱いにすべき。</p> <p>（基本施策2-7「地域に根ざした野外・環境教育の推進」）</p>	<p>持続可能なまちづくりを進めるうえで、野外・環境教育の推進がその基盤となるものであることは理解します。しかし、総合計画は6つの政策大綱ごとに体系的に整理したものであるため、環境教育の重要性は意識しつつも、位置づけとしては基本施策2-7の中で示す形とし、変更は行いません。</p>
<p>環境未来都市、SDGs未来都市宣言をしてはどうか。</p>	<p>今後検討しますが、基本計画への掲載は不要と考えます。</p>

※SDGs（エス ディ ジーズ）：2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までに持続可能でよりよい世界を目指すための国際社会全体の普遍的な目標のこと